

海辺の花園・再生プロジェクト 第8弾



現地観察会「海辺の花園、花粉を運んでくれるのは誰でしょう？」

【日 時】2022.7.9 (土) 9:30～11:30

※悪天候時は中止(前日の放送でお知らせします)

【講 師】長谷川 雅美 氏 (東邦大学理学部 教授)

【場 所】仲の原園地駐車場 集合・解散

【調査地】サンセットパームライン

【持ち物】帽子、飲料水

かつて大島の海岸線を鮮やかに彩っていた黄色やオレンジ色の花々。それがだんだん少なくなってきたことにお気づきでしょうか？ 減ってしまった花々の姿をどうしたら元に戻すことができるのか... 専門家の先生方にご助言をいただきながら 《東海上の花彩島・大島》を一緒に復活させていきませんか？

濃いオレンジの花を咲かせて海辺を彩るハマカンゾウ。英語で「Day lily」と呼ばれ、アサガオと同様、朝に咲いた花は夕方にはしぼんでしまう一日花です。

しかし、たった一日の開花でも花粉が運ばれ受粉し、結実して種ができます。いったいどんな生き物が花粉を運んでいるのでしょうか？ どんな場所に生えるハマカンゾウがたくさん実をつけるのでしょうか？

海辺の花園をにぎやかにする工夫の1つとして、花粉を運ぶ生き物にどのような配慮が大切なのか、一緒に観察して考えてみませんか？